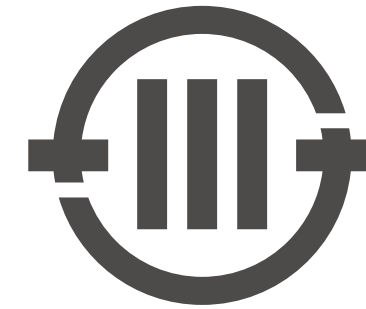




2024 滑川町勢要覧

滑川町勢要覧2024

埼玉県滑川町



町章

上と下の円は、カナ文字のナとメを
図案化したもので、滑川町民の融
和を表現し、中央の“川”の文字は、
町の中央を流れる滑川を表現して
町の発展と平和を表しています。
(昭和38年12月17日制定)



町の花
ツツジ

町の木
マツ

町の鳥
キジ

町の魚
ミヤコタナゴ

NAMEGAWA 2024

滑川町勢要覧2024

発行●埼玉県比企郡滑川町
〒355-8585 埼玉県比企郡滑川町大字福田750-1
TEL.0493-56-2211 FAX.0493-56-2448
URL <https://www.town.namegawa.saitama.jp/>
発行日●令和6年10月



発刊に当たって 滑川町長 大塚信一

滑川町は、埼玉県のほぼ中央に位置する首都近郊の町として発展してまいりました。2つの駅を有し、近隣には高速道路のインターチェンジが位置する交通利便性の高い地域でありながら、令和5年1月には古くから伝わる伝統的な農法「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」として日本農業遺産に認定されたように、豊かな自然と里山の姿を残す首都圏のオアシスとして、多くの方が移住してきております。

特に、全国的に人口の減少や少子化が課題となっている昨今、町の人口は着実に増加しております。合計特殊出生率では全国平均を大きく上回り、県内では常に上位に位置し、令和6年4月に民間の有識者グループ「人口戦略会議」では100年後も消滅しない町として注目を集めています。町の将来を展望するに誠に喜ばしい状況であります。

滑川町は、「住んでよかった 生まれてよかったまちへ 住まいるタウン滑川」を基本に、ピカッと輝く町を目指し、元気なまちづくりに引き続き取り組んでまいります。

この要覧は、滑川町の特徴を紹介したものです。町のガイドブックとして多くの皆様にご活用いただき、町政へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

On the Occasion of Publication Nobuichi Otsuka, Mayor, Namegawa Town

Namegawa Town is located in the vicinity of Tokyo, near the center of Saitama Prefecture. Many people are moving to the community as a Tokyo metropolitan area oasis that, while having two train stations and good access to expressways, still retains its rich nature and satoyama landscapes to such a degree that the Yatsunuma Agricultural System Utilizing Rainwater from the Hiki Hills was recognized as one of Japan's Globally Important Agricultural Heritage Systems in 2023. The Town's population has steadily increased, and in 2024 in the Population Strategy Council, a private-sector expert group, it drew attention as a town that would not disappear in 100 years. I hope that this brochure, which presents the unique features of Namegawa Town, will be useful to many people.

目次 Contents

NAMEGAWA LIFE 3つのキーワード …… 2
子育てNo.1 / 充実した住環境 /
広大な自然公園

EVトウクトウクで気ままにプチトリップ … 8
～女子旅編～
～史跡巡り編～

観光大使“れきしクン”に聞く
“滑川町のココがスゴイ！” …………… 12

町制施行40周年記念特集
未来へつなごう なめがわものがたり…………… 13
空から見る・なめがわ今昔 …………… 22
滑川町のあゆみ…………… 24

みんなでつくろう
「ピカッと輝くまちづくり」
町長×町民座談会「ピカッと輝くまちづくり」を
語ろう！…………… 26
1. 誰もが生涯安心して暮らせるまちづくり …… 30
2. 豊かな心と文化を育むまちづくり …………… 31
3. 暮らしやすい快適なまちづくり …………… 32
4. 特性を生かした活力ある産業のまちづくり … 33
5. 町民との協働による自立可能なまちづくり … 34
6. 行政・議会／都市交流 …………… 35

統計で知る“滑川町ってこんな町” …………… 36
町を彩る 滑川の四季 …………… 38
公共施設ガイドマップ…………… 40

1954年に福田村と宮前村が合併し、
両村の間を流れる川の名から「滑川村」が誕生して70年。
1984年には町制を施行し「滑川町」となって40年。
人でいえばまさに壮年期、
心身ともに充実した時期です。
この間、町の歩みと共に大きく姿を変えたものや、
ずっと変わらずに受け継がれてきたものもあります。
滑川町で生まれた子どもたちが
この先もずっと誇りに思う町であり続けるために、
輝く未来に向けて、
ここから新たな物語をスタートします。

2024年11月3日、
滑川町は
40歳になりました。

On November 3, 2024, Namegawa Town celebrated 40 years since the Town's establishment.

In the course of our history since 1984, some things have changed greatly, while others have remained the same. Namegawa Town will now start a new chapter in its history, so that the children born here will continue to be proud of their town in the future.



青空おはなし会



子どもまつり

子ども向けの楽しい
イベントがいっぱい。

地域子育て支援拠点、保育所や認定こども園、学童保育室も充実している他、住民の助け合いによるファミリー・サポート・センターも整備されており、共働き家庭も安心です。

子育て応援施策がいっぱい！
「子育てナンバーワンの町」を自負する滑川町では、子どもは地域の宝と捉え、子どもを産み育てることの喜びを実感できる町づくりを目指して、さまざまな子育て支援に努めています。
例えば、令和5年4月からは、お子さんを出産した世帯に第1子から「滑川町子育て応援金」の支給を開始しました。また、高等学校終了までのこども医療費の無料化や、町内在住のすべての方の保育園・幼稚園、小中学校の給食費無償化にも全国に先駆けて取り組み、子育てファミリーに支持されています。

自然と触れ合える子育て環境
町の北部には広大な国営武蔵丘陵森林公園や緑豊かな田園が広がり、四季折々の豊かな自然と触れあえる子育て環境も大きな魅力となっています。また、小学校では、貴重な国の天然記念物ミヤコタナゴの飼育を通して、自然環境を守ることの大切さも学びます。
さらに、食育にも力が入られ、谷津田米は通年で食べることができ、滑川産食材でつくる地産地消の給食を提供する日も設けられています。
心にゆとりを持って子育てできる滑川町の環境は、まさに「子育てナンバーワンの町」にふさわしいものです。



小学校の調べ学習

The No. 1 Town for Raising Children

Namegawa Town has some of the highest population growth rates and birth rates in Japan, and is especially preferred by families raising children. The primary reason is that we strive to provide generous childcare support. Namegawa Town is one of the first municipalities in Japan that provide free medical care for children and free school meals. We also offer community childcare support centers and after-school care centers. In the last few years, we have begun distributing childcare assistance payments starting from the first child and operating school buses for children commuting long distances. Namegawa Town is also highly regarded for its environment where residents can interact with the rich nature of the four seasons and for its emphasis on food education, such as our special school lunches made with Yatsuda (rice paddies located in the valleys of low-lying hilly areas called yatsu) rice.



谷津田米を使用した地産地消の給食



滑川町の“暮らしやすさ”を
3つのキーワードでご紹介します。

滑川町は人口増加率・
出生率ともに全国有数で、
子育て中のファミリーに
特に選ばれています。
ここで子育てしたくなる
理由を探ってみましょう。

年少人口割合

県内
第1位

出典：統計からみた埼玉県市町村
のすがた2024

NAMEGAWA
Life
キーワード

子育て
No. 1



スクールバス



つきのわ駅前ショッピングモール



つきのわ駅周辺の住宅街



なめがわ森林モールと
県道47号深谷・東松山線



通勤も、通学も、
おでかけも。
アクセスばつぐん。

つきのわ駅



森林公園駅

住み続けたい街
駅部門

県内
第1位

出典：いい部屋ネット街の幸福度&
住み続けたい街ランキング2024
〈埼玉県版〉

NAMEGAWA
Life
キーワード

出のドライブも楽しめます。
充実した住環境は若い世代を中心
に高く評価され、「いい部屋ネット街の
幸福度&住み続けたい街ランキング
2024（埼玉県版）」では、「住み続け
たい街」自治体部門で滑川町が4年連
続第2位、駅部門ではつきのわ駅が第
1位に輝きました。

若い世代に支持される町

令和6年発表の「人口戦略会議」報
告書によると、2050年までに若年
女性人口の増加予測自治体は全国でわ
ずか8つ。その1つが滑川町です。また、
全国に65しかない「自立持続可能性自
治体」の1つでもあり、将来的にも消
滅しない町とされています。

都心や周辺へのアクセス抜群

町南部には、東武東上線の森林公園
駅とつきのわ駅があり、都心はもちろ
ん近隣地域への通勤・通学などに多く
の人が利用しています。都心まで約60分、
しかも乗車時に混み合うことなく、座っ
てラクラク通勤・通学できることも魅
力です。

さらに、2023年からは新横浜まで
乗り換えなしの直通運転も始まり、どこ
へ行くにもますます便利になりました。

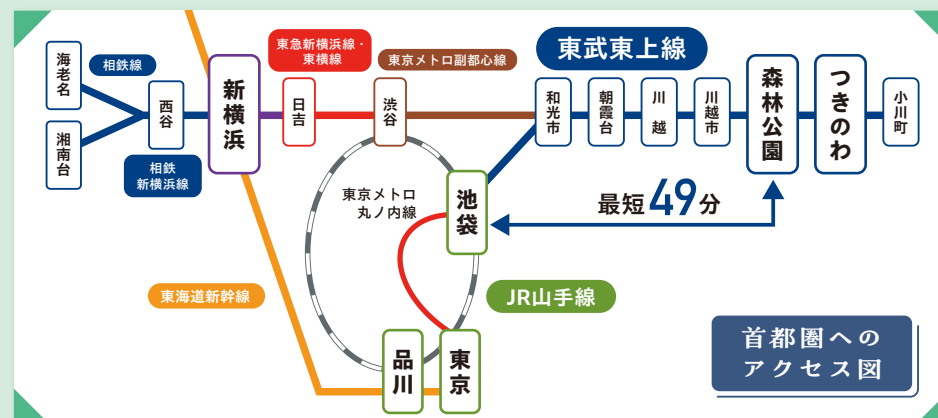
買い物やおでかけも便利

駅の周辺には緑豊かな住宅地が広
がっており、環境の良いところで庭付
き一戸建てに住みたいと、都心などか
ら移住する人々も増えています。アク
セスが良いので、転職や転勤をせずに
移住できることも滑川町が選ばれるポ
イントの一つです。

町内には2つの大型ショッピング
モールがあり、日常生活に全く不便は
ありません。また、県道47号深谷・東
松山線や国道254号などの幹線道路
の他、関越自動車道の東松山ICと嵐
山小川ICが近くにあり、休日には遠

A Fulfilling Environment for Living

The well-appointed living environment of Namegawa Town is supported mainly by the young generation. The reason is, first of all, accessibility. There are two stations, Shinrin-Koen Station and Tsukinowa Station, and it takes about 60 minutes to get to the central area of Tokyo, so many people here commute to work or school. There is also a direct train all the way through to Shin-Yokohama Station. Besides major roads, the Higashimatsuyama Interchange and Ranzan-Ogawa Interchange of the Kan-etsu Expressway are also nearby. The two large shopping malls are also convenient, and an increasing number of people are moving from central Tokyo to the residential area around the station. Since the population of the younger generation is increasing, in the 2024 report of Japan's Population Strategy Council it was stated that the Town would not disappear in the future.



充実した 住環境

2つの駅から通勤・通学も座ってラクラク。

緑豊かな住宅街や、

暮らしに便利なショッピングモール。

若い世代に支持される理由がここにあります。





広い森の中で、
思いっきり遊ぼう！

A Town with a Vast Natural Park

Namegawa Town is home to Musashi-Kyuryo National Government Park. Taking advantage of the hilly terrain and natural beauty of satoyama, the traditional agricultural landscape, the vast 304-hectare park is decorated with seasonal flowers, and many seasonal events are held there. There are also numerous play areas for children, such as a traditional playground and a water playground, that are visited by many people from inside and outside the Town. The park is also a good place to learn about forest creatures and the natural environment, and the children of Namegawa Town visit for outdoor classes. Being able to learn about nature using your five senses is a special feature of Namegawa Town, where nature is close at hand.



子どもたちの
自然学習の場にも。



季節ごとに
花々が咲き乱れる
憩いのスポット。



四季折々に楽しめる自然公園

滑川町は、全国で初めての国営公園として整備された「国営武蔵丘陵森林公園」のある町としても知られています。

丘陵地の地形と里山の自然を活かした園内は、四季折々の花々で彩られ、さまざまなイベントも開かれます。休日には、森の癒しを求めて訪れた多くの来場者たちが、季節の自然を満喫しながらハイキングやサイクリングを楽しんだり、愛犬をドッグランで走らせたり……。家族で

町内外から集います。

自然公園には、憩いを求める人々が

四季折々の花々で彩られる

「国営武蔵丘陵森林公園」。

1人当たり
都市公園面積

県内
第2位※

出典：統計からみた埼玉県市町村の
すがた2024

広大な森は自然学習の場

304ヘクタールもの広大な森の中には、貴重な動植物も生育、生息しており、森の生き物や自然環境を学ぶのにも適しています。なめがわつ子たちは、小学校低学年から校外学習で訪れます。

公園スタッフやボランティアにより、クイズを交えたオリエンテーリングなど、里山を活かした環境学習プログラムが数多く設定されています。子どもたちが、野生生物の生態や自然の不思議、しくみについて五感を使って学べるのも、自然が身近な滑川町ならではのです。

NAMEGAWA Life
キーワード

広大な
自然公園
3

※2022年版までは県内1位。人口増加により小鹿野町に僅差で1位をゆずった。

EVトク Tuk Tukで行く// プチトリップコース ～女子旅編～



トク Tuk Tukに乗って、さあ出かけよう!



谷津の里に着いたよー?



緑のトンネルの中を走ると、風が気持ちいいわ。

1 滑川町役場

環境に優しいEVトク Tuk Tukのレンタルは役場内の滑川町観光協会(産業振興課内)で。



レンタサイクルで園内をぐるーり回ろう。

谷津の里

- 森林公園西口(BBQ)
- いちご農園(いちご狩り)
- ビルトップファーム(ブルーベリー狩り)
- 森林公園中央口

2 谷津の里

のどかな里山一帯に貸し農園や果樹園などが点在。いちご狩りやブルーベリー狩りのほか、米作り体験やたけのこ掘り、3種類のジョギングコースなども楽しめる。

3 国営武蔵丘陵森林公園

四季折々の花々や季節のイベントを楽しむる広大な自然公園。広い園内はレンタサイクルで回るのもおすすめ。手ぶらで楽しめるBBQ広場も人気。

4 グランピング&テルマー湯

グランピングと日帰り温泉施設、キッズパークなどを備えた複合施設。岩盤浴やサウナも楽しめる。



レンタサイクルで園内をぐるーり回ろう。



ちょっと一休み。いちごソフトでエネルギーチャージ。



お昼寝で、疲れをリフレッシュ。



アウトドアでランチタイム。おんなで作業が楽しいわ。



グランピングとテルマー湯に到着しました!

温泉に入って疲れを癒そうわ。

いいお湯だったわ。お風呂でリフレッシュできたわ。

EVトク Tuk Tukで行く// 気ままにプチトリップ ～女子旅編～

お花畑やフルーツ狩り、 アウトドアグルメも満喫!

さわやかな春の一日、友だちを誘って滑川町にやってきた。

まずは、町役場でEVトク Tuk Tukをレンタルして「谷津の里」へ行ってみた。さわやかな風を感じながら新緑がまぶしい里山を快適ドライブ。丘の上には、夏はブルーベリー、冬にはいちご狩りが楽しめるフルーツ狩り農園もあり、のどかな風景の中でたっぷりの緑に癒された。

丘を下りたら、この日のメインスポット国営武蔵丘陵森林公園へ。春の園内は、ホビーやネモフィラ、ルピナスなど、見渡す限りのお花畑が圧巻! 広大な森の中を散策したり、サイクリングで汗を流したり……。昼食は園内のBBQ広場で、みんなとワイワイ、アウトドアアクッキングを思う存分楽しんだ。

アクティブに過ごしたプチトリップの終わりに、日帰り温泉施設「テルマー湯」へ。のんびりゆったり、心地よく一日の疲れがほぐれていく。思いつきリフレッシュできた一日だった。

Easy Short Trip in an Electric Tuk-Tuk —Women's Trip Edition—

On a refreshing day in early summer, I invited friends to come to Namegawa Town. Our first destination was Yatsu no Sato. The scenery was idyllic, with a fruit picking farm on the hill where you can enjoy picking blueberries in the summer and strawberries in the winter. Next stop was Musashi-Kyuryo National Government Park. The flower garden as far as the eye can see was the highlight, and we enjoyed walking, cycling, and barbecuing in the huge forest. At the end of the day, we were able to soothe our tiredness and refresh ourselves to the fullest at Thermae-yu, a hot spring day spa facility.

EVトク Tuk Tukで行く／ プチトリップコース ～史跡巡り編～

1 滑川町役場

EVトク Tuk Tukで行く史跡
巡りはここから。



滑川のディープな
歴史を探索に
行ってみよう！

2 羽尾城跡

羽尾七騎の筆頭、山崎若狭守
(介)の居城で、天正18年(1590)
の小田原征伐の際、前田利家
と上杉景勝の大軍に攻め寄せ
られて落城したと伝わる。



ここに館があったんだね。
戦国時代にタイムスリップ
した気分だ。



3 ニノ宮山

町で一番標高の高い山。山そのもの
がふもとにある伊古乃連御玉比
売神社の奥社とされ、古代から信
仰の対象だった。



これから行く泉福寺や
三門館跡はあちらに
見えます。

やったー！
山頂に到着
したよ。

4 伊古の里 農家レストラン

ニノ宮山麓にあり、里山の風
景を眺めながら季節の地元野
菜や谷津田米をふんだんに
使った料理が味わえる。



うーん、
どれもおいしいぞう！
谷津田米ごはん、
いただきます。

5 三門館跡

館主は毛利氏など諸説ある中世の館跡。
一説には頼朝を支えた比企能が住んで
いたとも伝わる。



ここから三門
館跡がよく見える。

このような像を寄進
できるほどの人物がいた
ことは驚きですね。

平安末期から鎌倉
初期に造られた大変
重要な仏像です。



6 泉福寺

建久元年(1190)に開かれたと伝わる由緒あ
る寺。国指定重要文化財の木造阿弥陀如来坐像
が安置されている。



Easy Short Trip in an Electric Tuk-Tuk —Historical Site Tour Edition—

In my role as "Rekishikun" (a celebrity navigator of history) and as tourist ambassador for Namagawa Town, I came to visit historical sites to let people know about the Town's history. First, I went to the ruins of Haneoka Castle, which date back to the Sengoku period. The ruins of Yamada Castle and Yamazaki Castle, as well as a road that is said to have been one of the Kamakura Highways, also remain in Musashi-Kyuryo National Government Park. Next, I headed to the Mt. Ninomiya area. From the observation tower at the summit, you can clearly see the same topography as in ancient times. Lunch was at a farmhouse restaurant at the foot of the mountain, where I was impressed with the Yatsuda rice. The last stop was the Izumi area. My interest in the history of Namagawa Town deepened further when I visited Sengokuji Temple, which has a statue of Buddha designated as a nationally designated important cultural property, and the remains of Mikado Yakata.



山田城跡

国営武蔵丘陵森林公園内に残る中世の史
跡。忍城主の家臣、賛田氏の居城、または
松山城の出城とも伝わる。



古鎌倉街道

鎌倉や小田原に通じる軍路で武蔵武士が
通った古道。城と城を結ぶ役割も果たし
ていた。

れきしクンが探訪する、
滑川のディープな歴史。

観光大使として滑川町の歴史を調べてみた
ら、一部の人がしか知られていないけど、本
当はすごい史跡がたくさんあることがわかっ
た。そんな町の歴史をみんなに知ってほしいと、
EVトク Tuk Tukで史跡巡りに出かけた。

まずは、戦国時代の城跡、羽尾城跡へ。森
の中に分け入れば、土塁や空堀が残っている。
当時、この一帯には羽尾七騎と呼ばれた地侍
の武士団があり、羽尾の地を開発した中心人
物とも言われている。今も、七騎の子孫とさ
れる家が残るとか。他にも、国営武蔵丘陵森
林公園内に山田城跡や山崎城跡、鎌倉街道と
伝わる道があり、近くに谷城跡もある。この
辺りは戦いが起こるほど、みんなが欲しが
る土地だったということだ。

次は「伊古の里」と呼ばれるニノ宮山周辺へ。
展望塔の建つ山頂へ登ってみた。塔の上から
眺めれば、昔から変わらない谷津の地形がよ
く分かる。ランチは山麓の農家レストランで。
谷津田米のおいしいごはんは地元野菜たっぷ
りの絶品プレートに感激した。

旅のクライマックスは和泉地区へ。ここは
鎌倉時代の史書にも出てくる由緒ある土地。
泉福寺には、国指定重要文化財の仏像が鎮座
する。近くの三門館跡には、源頼朝の乳母だ
った比企能が住んでいたという説もある。

知れば知るほど面白い滑川町の歴史。もっ
ともっと深く知りたいと思った一日だった。

町制施行40周年記念特集

未来へつなごう、
なめがわ
ものがたり

旧石器時代から悠久の^{ゆききう}時を刻んできた滑川地域。
古墳時代には、渡来人によって谷津沼農法が伝えられ、
長い年月、^{れんのん}連綿と暮らしが営まれてきました。
この地で花開いた高い文化とともに、
根付いてきた物語を紐解き、
現代、そして未来へと手渡していきましょう。

2023年に滑川町初の観光大使として就任した「れきしクン」こと長谷川ヨシテルさん。
彼が思う滑川町の魅力や、就任後に発見して驚いたこと、観光大使として今後発信していきたいことなどをお聞きしました。

観光大使「れきしクン」に聞く

滑川町の ココがスゴイ！



「滑川まつり」でクイズを出題するれきしクン

滑川町の観光大使に就任したきっかけを教えてください。

比企地域が舞台の一つとなったNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の放送がきっかけです。ドラマの中で武蔵武士の活躍が大きく取り上げられ、講演会やイベントで滑川町の歴史についてお話しする機会が何度かありました。そのご縁で声をかけていただいたという経緯です。

出身は隣の熊谷市なのですが、幼なじみが滑川高校に通っていたことや、森林公園によく遊びに行っていたこともあり、滑川町には以前から親近感を持っていた

——れきしクンから見た滑川町の魅力は、どんなところでしょうか？

源頼朝の鎌倉幕府創立期を支えた中心人物が比企地域の人たちだったというのは、とても誇れることだと思います。頼朝を献身的に支えた町だと考えると、この地域が大きな歴史にも繋がっている気がして、そこは魅力の一つですね。

また、森林公園の中に鎌倉街道の路が残るように昔から交通の要衝で、武士たちがお城を構えたくなる地域だったことが、城跡の多さからもわかります。滑川町は住みやすい町だといわれますが、住みたくなるのは必然だと歴史が証明しています。

もちろん、谷津田米や栗などのおいしい特産物や豊かな自然も魅力ですね。

滑川町の歴史を調べるようになって、新たに発見されたことはありますか？

興長寺の裏山に東日本最古といわれる寺谷廃寺という寺跡があったことです。東日本最古ということも驚きですが、その寺の建立に関わったとも考えられるのが聖徳太子と繋がりがあった「壬生吉志」氏という渡来系の豪族だったこと。奈良のヤマト政権から派遣され移住したこと



れきしクン（長谷川ヨシテル） プロフィール

歴史ナビゲーター・歴史作家。埼玉県熊谷市出身。YouTubeで「れきしクンの城めぐりチャンネル」「れきしクンのゲームチャンネル」を運営中。著書には『キタレン城めぐり』『ポンコツ武将列伝』など。

にあった国分寺の七重塔の再建をした大金持ちの豪族がいたことに興味をそそられました。その後、鎌倉時代までに歴史上から消えた一族で、滑川村史でも取り上げられていますが、もっと調べてみたいと思っています。

観光大使として、今後滑川町をどうやって発信していきたいですか？

滑川町には公園の中にある城跡など、ユニークで面白いお城があるので、YouTubeで発信していきたいです。知り合いの城好き有名人にもPRして、滑川町の魅力をもっと広められたらと思います。お城巡りスタンプラリーなども企画したい。せっかく大河ドラマでも取り上げられたので、比企地域全体で町を盛り上げていけるといいですね。みなさんの生活に、歴史を通して彩りを加えるお手伝いができたらと思っています。



谷津の奥にため池を築いて米を作ろう！



Ancient Times when the Yatsunuma Agricultural Method Began

About 200 marshes in Namegawa Town are irrigation ponds for rice cultivation. Rice cultivation was introduced here more than 1,700 years ago. As a way to secure the water necessary for rice cultivation, the Yatsunuma agricultural method was started by building a bank at the back of a yatsu to store a large amount of rainwater from which to draw. When rice cultivation became popular, powerful local clans appeared. Ancient tombs, ruins of ancient temples and kilns have been discovered.

谷津沼農法の始まり

大きな河川のない土地で稲作を

滑川町には大小200近くの沼があり、その数は関東一を誇ります。これらは丘陵の地形を生かして造られた稲作用のため池です。

稲作は、朝鮮半島から渡ってきた渡来人によって伝えられ、北部九州の一部から始まって数百年をかけて東へと広がったとされます。米は貯えることができるため、食糧が安定して社会が発達し、各地に豪族が生まれ、やがて有力者の古墳が造られるようになっていきました。

滑川町一帯には、1700年以上前の古墳時代までには伝わったとされています。稲作にはたくさんの水が必要ですが、この地には大きな川がありません。そこで、丘と丘の間に細長い谷津がいくつも入り組んでいる独特の地形を生かし、谷津の奥に築堤して大量の雨水を貯え、水を引いて稲作を始めることを考えついたのです。

平地のため池と違って、高いところに堤を築くためには、高い技術力と多くの人々の労力が必要でした。谷津沼農法は、先人たちの知恵の結晶ともいえるでしょう。

稲作が盛んになり中央ともつながる

古代のこの地は高度な技術を持った人々によって稲作ができるようになり、有力な豪族も現れました。5世紀後半以降の古墳が約300基もあるほか、須恵器を焼いた県内最古級の五層沼窯跡群や、東日本最古とされる古代寺院である寺谷庵跡があります。さらに、伊古乃連御玉比売神社は、延喜式に記載された比企郡で唯一の古い神社で、二ノ宮山の頂上に創建したとも伝わります。



月輪古墳群から出土した家形埴輪



須恵器を焼いた五層沼窯跡群（県指定史跡）



朝廷にも名が知られていた旧比企郡の総社、伊古乃連御玉比売神社

谷津田米で支えた頼朝が挙兵、戦乱の世に。



The Medieval Period when Castles were Built and the Musashi Samurai Flourished

In Japan's medieval period, samurai groups emerged to guard land. In the whole area of Namegawa Town and elsewhere, a group of samurai known as the Musashi became active, leaving behind the remains of castles, residences, and roads of the Sengoku period (period of warring states).

On the other hand, peasants who were involved in the war began to worship at temples and shrines to pray for peace of mind. There are many precious cultural properties built as objects of worship, as well as historic temples and shrines scattered around the area.

鎌倉時代の和泉地区

城館が築かれ、武蔵武士が活躍

平安時代半ばには律令制度が崩壊し、荘園制が盛んになりました。月輪という地名も、月輪殿と呼ばれた関白・九条兼実の荘園に由来するといわれます。荘園を管理する必要性から武士団が発生したとの説もあります。やがて源氏と平氏の二大勢力が台頭して武家の力が強まってきました。

武蔵武士の多くは源頼朝を支え、鎌倉幕府の創設に大きく貢献し、滑川町域を含む比企地域でも、一部は地制的、血縁的なまとまりを持つ「党」と呼ばれる集団を形成して活躍しました。国営武蔵丘陵森林公園内には、幕府のある鎌倉と各地を結んだ鎌倉街道と伝わる道が残り、その周辺には戦国時代の山田城跡、山崎城跡、谷城跡などが点在。空堀などに名残をとどめます。

和泉地区の三門館には、頼朝の乳母だった比企尼が暮らしていたという説もあります。また、戦乱の世を逃れた木曾義仲の子孫が福田郷で農民となり、その末裔が長く庄屋を務めたとも伝わっています。

武蔵武士が闊歩した時代

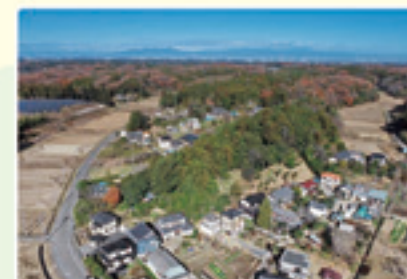
戦乱の世、平安を願う仏教文化

農民たちも戦乱に巻き込まれる時代になると、人々は心の平安を願い、寺社への信仰が盛んになりました。信仰の対象として造られた貴重な文化財も数多く残っています。

平安末期から鎌倉初期にかけて造られた泉福寺の木造阿弥陀如来坐像は、国の重要文化財に指定されています。町内で確認された約260基の板石塔婆のうち、町内最古の建長の板石は貴重で町指定文化財。ほかにも、寄木造りの四天王像が見事な慶徳寺や、福田馬頭観音、福正寺勢至堂など、由緒ある寺社が数多く点在します。



慶徳寺の山門に立つ寄木造りの四天王像



比企尼が暮らしたと伝わる「三門観音」



泉福寺の「木造阿弥陀如来坐像」(国指定重要文化財)

共同で沼普請を行い、谷津沼を守った。



Rich Rural Culture Flourished in the Early Modern and Modern Period

In the early modern period, the unique yatsu landscape of Namegawa Town spread and the Yatsunuma agricultural method flourished. Horses for farming were highly valued, and more than 100 Bato Kannon (the horse-headed form of the Buddhist goddess of mercy) remain. Higi, an environmentally friendly packaging material made of wood shavings, was also invented in Namegawa Town. In addition, fishcatching events held during numabushin (annual marsh bank reinforcement efforts) helped to maintain the ecosystem, allowing the endangered Miyako Tanago (Japanese bitterling) to survive in the Town's marshes.



花開く豊かな農村文化

全国的に新田開発が盛んに行われた江戸時代の初頭には「もうこれ以上、造る場所がない」というレベルまでため池が普及していました。谷津の奥にため池、脇を水路が走り、眼下の平地に田んぼ、斜面には林と畑や人家というのが、今も変わらぬ特徴的な谷津の風景です。

農業の機械化が進む昭和初期まで、農耕や運搬などの動力としては馬が重宝されました。馬は、堆肥の供給源としても欠かせない存在であり、家族同様に大切にされたといわれています。馬の守護仏や供養碑として建てられた馬頭観音は、今も町内に100基以上残っています。

また、江戸時代末期、関東一門の竹が枯れて竹皮が不足したとき、代わりの包装材として、月輪に住む宮島勘左衛門が枇木を考案しました。枇木は赤松を薄く削ったもので、通気性に富み、抗菌作用もあることから、食品を包むのに最適でした。昭和30年代まで、月輪地区の地場産業として盛んに製造されました。近年では、地球環境に優しい素材として、改めて見直されています。

豊かな農村に息づく
独特の文化

現代人も手本にしたい
SDGsな暮らし方

谷津沼農法のため池は、平地のため池と違って高いところに堤を築くため、常に漏水の心配があり、沼の水を利用する家々が共同で沼普請を行いました。沼を干し、底のヘドロをさらし、樋管の伏せ替え、土盛りや杭打ち、堤の補修などを手作業で行いました。堤で刈った草は牛馬の飼料や畑の堆肥にし、沼干しの際に魚の捕り会を開催して、捕った魚は食卓に上ることはもちろん、大型魚の駆逐により生態系の維持にも役立ちました。国の天然記念物である絶滅危惧種のミヤコタナゴが町内の沼で見つかったのも、沼の補修を怠らず、大切に守ってきた証です。



魚の捕り会で使われる伝統漁具



環境に配慮した包装材として見直されている枇木



江戸時代に枇木を考案した「宮島勘左衛門の碑」



農耕馬の大切さを伝える「馬神の馬頭観音」

ミヤコタナゴの自然復帰を目指すプロジェクト



エコミュージアムセンターに展示されている国の天然記念物「ミヤコタナゴ」



ミヤコタナゴの人工繁殖の様子



国営武蔵丘陵森林公園と連携した里山の保全活動



滑川町のシンボル「ミヤコタナゴ」

Project for Natural Restoration of Miyako Tanago (Japanese bitterling)

Miyako Tanago (Japanese bitterling) is a freshwater fish native to Japan and is a rare fish designated as a national natural monument. It was discovered in a reservoir in the Town around 1985, and artificial breeding started in 1994. In 2000, the Namegawa Town Eco Museum Center became the center of breeding efforts, and in 2021, the Namegawa Town Satoyama Project began. It is expected that the project, which aims at the fish's return to nature and is being carried out in cooperation with local communities, families, and schools, will also lead to the development of children's human potential.

ミヤコタナゴは日本固有の淡水魚で、かつては関東一円の水辺に広く生息していました。都市化の進展で絶滅の危機に瀕しており、国の天然記念物に指定されている希少な魚です。

昭和60年頃、町内のため池で相次いで発見されたことから、町では平成6年から役場庁舎内で人工繁殖を開始しています。その後、平成12年からは、滑川町エコミュージアムセンターを拠点に飼育し、人工繁殖やその生態に関する調査・研究に取り組んできました。

さらに、令和3年度から国営武蔵丘陵森林公園との連携・協働による「地域の自然環境保全滑川町里山プロジェクト」をスタート。森林公園内に位置する沼で、定期的なイベント、生き物・水質調査、環境整備を実施しています。

自然復帰に向けては、ミヤコタナゴの繁殖に欠かせない二枚貝が揃えるように、沼の良好な環境づくりを行うことが最大の課題です。そこで、地域や学校とも連携・協働して、生存条件の調査と整備、放流試験の方法とモニタリングなどの調査・研究を進めています。

滑川町に再び自然状態のミヤコタナゴ生息地を復元・定着させることを目指すプロジェクトは、未来を担う子どもたちの豊かな人間力の育成にもつながると期待されています。



— 現代～未来へ —

日本農業遺産に認定！

千年の伝統が脈々と続く
谷津沼農業システム

令和5年1月17日、滑川町を中心とした比企丘陵地域の「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が「日本農業遺産」として認定されました。

「ため池かんがい」を基盤とするこの地域の農業システムは、用水確保における地形的マイナスをプラスに転じる画期的なものでした。人力による開発のため、地域を網羅するシステムの完成には千年もの歳月を要しましたが、緩やかな丘陵地の「標高差」と、高所から低



「日本農業遺産」に認定



小学校で行われる稲刈りの体験学習



ふるさと納税の返礼品としても人気の谷津田米

所へと流れる「水の自然流下作用」に着目した、シンプルで完成度の高い「省エネ水供給システム」は、その基本的なしくみを変えることなく今日まで受け継がれています。

人が関わりなくなったことで荒廃する里山が多い中、「ため池かんがい」を農業の基盤とする当地域では、時代の要請や変化に対応しつつ、絶えず自然との無理のない関わり方を模索してきました。この持続可能な農業システムこそが、世界に誇るべき農業遺産としてふさわしいものといえるでしょう。

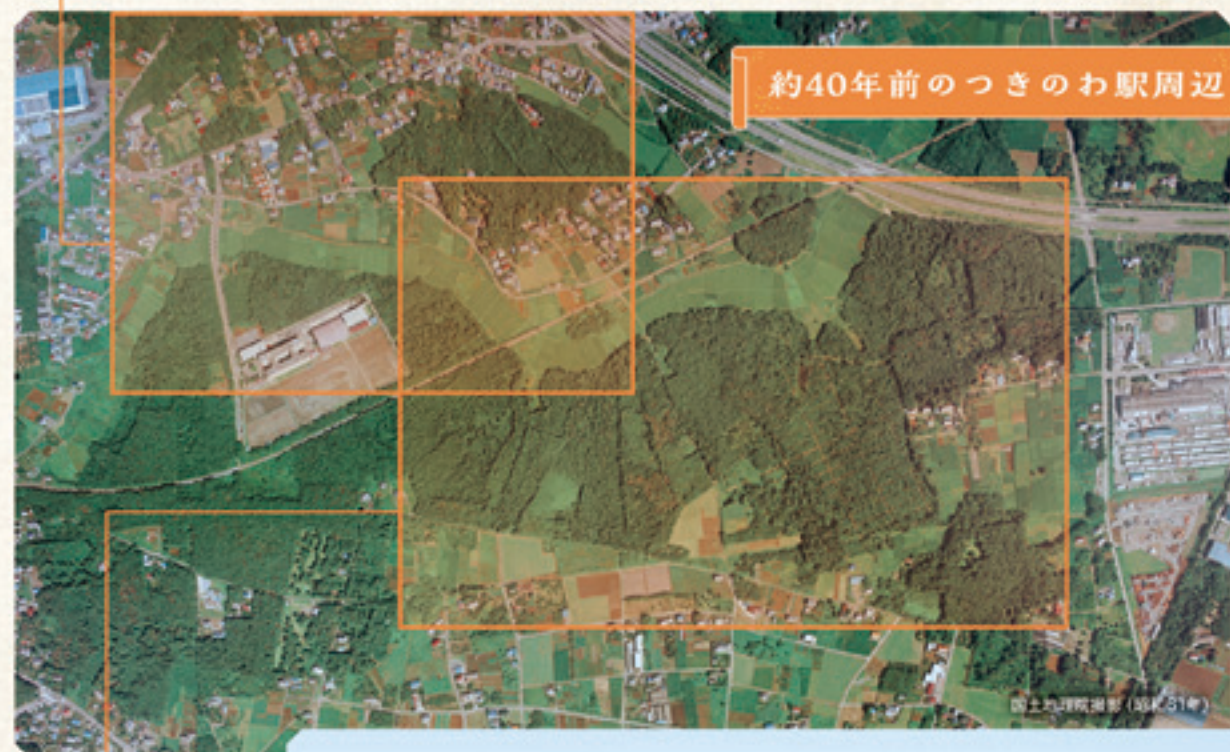
The Present, Being Recognized as One of Japan's Globally Important Agricultural Heritage Systems, and into the Future

In 2023, the Yatsunuma Agricultural System Utilizing Rainwater from the Hiki Hills was recognized as one of Japan's Globally Important Agricultural Heritage Systems. It took 1,000 years to complete the energy-saving water supply system, which utilizes the natural flow down of water, but the basic mechanism has not changed to this day. This sustainable agricultural system is a world-class piece of agricultural heritage of which we can be proud.



つきのお駅北側

40年前、東武東上線の線路は田んぼと雑木林の中を走っていました。月輪土地区画整理事業、平成14年（2002）のつきのお駅開業により新しい住宅が建ち並び、道路などのインフラが整備されました。また転入者の増加により、平成22年（2010）に月の輪小学校が開校しました。



約40年前のつきのお駅周辺



つきのお駅南側

月輪土地区画整理事業が完成したのは平成21年（2009）。40年前には北側と同じく田んぼと雑木林だった駅南側の風景もすっかり様変わりしました。新しい住宅地が整備され、新駅開業2年後の平成16年（2004）には大型商業施設「つきのお駅前ショッピングモール」が出店しました。さらに、月の輪地区の南を横切る国道254号は平成18年（2006）に全線4車線化が完成しました。



町役場周辺

昭和59年（1984）の町制施行と前後して町中央部に公共施設が次々に完成しました。西から町役場庁舎、総合体育館、町立図書館と並び、滑川沿いに桜の木が植えられたのもこの頃です。平成12年（2000）には図書館の東側にエコミュージアムセンターがオープン。40年前は田んぼが広がっていた駐車場の北側に総合運動公園がオープンしたのは平成11年（1999）のこと。田んぼの北側に見える中学校は、平成20年（2008）に新校舎に建て替えられました。



約40年前の町役場周辺



なめがわ森林モール周辺

県道47号深谷・東松山線の東西には一面に田んぼが広がっていましたが、平成18年（2006）に道路西側に大型ショッピングモール「なめがわ森林モール」がオープン。その西側には令和4年（2022）にグランピング&テラマー通が開業しました。また、なめがわ森林モールに隣接していた比企広域消防本部滑川分署は、平成27年（2015）に現在地に新築移転しました。



空から見る

なめがわ

今昔

40年前、滑川が村から町になった当時と、大きく変わった現在の風景を空撮写真で見比べてみましょう。



動画で見る
滑川町の
移り変わり

滑川町のあゆみ

昭和

1954 (昭和29年) 福田村と宮前村が合併し、滑川村となる
役場庁舎が福田に完成
滑川中学校と宮前中学校が統合し、滑川中学校となる
1956 (昭和31年) 福田中学校と宮前中学校が統合し、滑川中学校となる
1962 (昭和37年) 滑川中学校となる
1966 (昭和41年) 村立滑川幼稚園が開園
1971 (昭和46年) 東武東上線森林公園駅開設
1973 (昭和48年) 東松山地区消防組合が発足
1974 (昭和49年) 国営武蔵丘陵森林公園が開園
1975 (昭和50年) 県道熊谷・東松山有料道路が開通
1977 (昭和52年) 老人福祉センター「松寿荘」完成
1978 (昭和53年) 上水道が村内全域に普及
1979 (昭和54年) 東松山工業団地造成工事完成、分譲開始
1980 (昭和55年) 村内各小学校（小学校・中学校・幼稚園）で給食開始
1981 (昭和56年) コミュニティセンターが完成
1982 (昭和57年) 総合体育館の落成式
1983 (昭和58年) 役場新庁舎完成
1984 (昭和59年) 文化スポーツセンター完成
1986 (昭和61年) 天皇陛下、森林公園に行幸
1987 (昭和62年) 幼稚園舎新築、落成記念式典挙行
町制施行し、滑川町となる
町内の沼で天然記念物「ミヤコタナゴ」の生息を確認
滑川町立図書館開館
「ひまわりの里づくり」開始

平成

1989 (平成元年) 滑川町保健センター開館
福田小学校校舎改築が竣工
ふるさと創生事業が「二ノ宮山周辺整備」に決定
1991 (平成3年) 森林公園駅南口広場開園
住民情報オンラインシステム開始
1992 (平成4年) 第3次滑川町総合振興計画策定
1993 (平成5年) ロシア・ウラジオストク市から少年サッカーチーム来町
1994 (平成6年) 滑川産のミヤコタナゴ、役場ロビーで一般公開を開始
防災行政無線開局
1995 (平成7年) 公共下水道一部供用開始
1996 (平成8年) ミヤコタナゴの人工繁殖に成功
滑川中サッカー部がウラジオストク市を親善訪問
1997 (平成9年) 配水池が完成
町制施行10周年（合併40周年、水道事業20周年）記念式典挙行
1998 (平成10年) 一世紀長寿祝金支給条例制定
1999 (平成11年) ミヤコタナゴ保護シンボルマーク決定
2000 (平成12年) 二ノ宮山周辺整備事業で21mの展望塔完成
2001 (平成13年) タナゴ館オープン
町の魚に「ミヤコタナゴ」を制定
2002 (平成14年) 土地区画整理事業により「みなみ野」誕生
滑川中学校プール完成
2003 (平成15年) 森林公園駅南口画整理事業が完成
伊古・広瀬地区農業集落排水施設供用開始
1999 (平成11年) 滑川高校が甲子園初出場
総合運動公園オープン
子育て支援センターが完成
戸籍の電子化開始
2000 (平成12年) 2000年カウントダウンを実施
エコミュージアムセンター開館
2001 (平成13年) 21世紀カウントダウンを実施
4月 第4次滑川総合振興計画策定
10月 滑川町公式ホームページ開設
3月 新しい駅名が「つきのわ駅」に決定
森林公園駅→成田空港への直行バス運行開始
新駅「つきのわ駅」が開業
住民基本台帳ネットワークシステム開始
乳幼児医療費支給制度を小学3年生まで拡大



新駅「つきのわ駅」が開業 (平成14年)



滑川高校が甲子園初出場 (平成10年)



二ノ宮山周辺整備事業開始 (平成2年)



東武東上線森林公園駅開設 (昭和46年)



福田村と宮前村が合併して滑川村が誕生 (昭和29年)



月の輪小学校開校 (平成22年)



国営武蔵丘陵森林公園が開園 (昭和49年)



「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が日本農業遺産に認定 (令和5年)



東京2020オリンピック聖火リレーが「つきのわ駅」に到着 (令和3年)

令和

2004 (平成16年) 森林公園駅→京都・大阪への夜行高速バス運行開始
つきのわ駅前に大型店舗舗オープン
羽田空港への高速直行バス運行開始
町制施行20周年記念式典挙行
天皇・皇后両陛下が森林公園に行幸啓
常陸宮同妃両殿下がエコミュージアムセンターをご視察
2005 (平成17年) 滑川高校西通線（アンダーパス）開通
和泉・菅田・両表地区農業集落排水施設供用開始
2006 (平成18年) 「谷津の里」オープン
羽尾地区に「なめがわ森林モール」がオープン
1月 福田小学校でミヤコタナゴの飼育を開始
2月 宮前小学校でミヤコタナゴの飼育を開始
11月 月輪土地区画整理地内が「月の輪」地区に名称決定
3月 滑川中学校新校舎完成
3月 月輪土地区画整理事業が完成
4月 「伊古の里」オープン
7月 伊古の里に「農家レストラン」オープン
8月 滑川町情報発信館オープン
4月 月の輪小学校開校
町立小学校全3校に子育て支援センターを開設
11月 「こども医療費」現物支給（窓口払い廃止）制度を開始
3月 月の輪小学校でミヤコタナゴの飼育を開始
3月 東日本大震災で町内家屋等105件の被害が発生
4月 保育・幼稚園児から中学生まで給食費無償化を開始
10月 こども医療費支給制度の対象年齢を18歳まで引上げ
10月 人口増加率（平成22年国勢調査）が全国9位を記録
11月 滑川町イメージキャラクター「ターナちゃん」誕生
4月 東日本大震災復興支援のため宮城県松島町へ町職員を派遣
6月 「滑川町健康づくり行動宣言」を議決

2013 (平成25年) 宮城県松島町と災害相互支援協定を締結
役場庁舎の耐震補強・大規模改修工事完成
滑川中学校校舎が完成
4月 新行政区として「みなみ野・十三塚」（第15区）誕生
7月 野原・土塩地区農業集落排水施設供用開始
9月 滑川町健康づくり行動活動を開始
11月 滑川町プレミアム地域通貨を販売
7月 宮城県松島町と相互交流宣言を締結
滑川町子ども議会開催
8月 富山県上市町と災害時相互応援協定締結
町制施行30周年記念式典挙行
12月 岐阜県笠松町と災害時相互応援協定締結
7月 消防本部滑川分署が新築移転
10月 千葉県東庄町と災害時相互応援協定締結
4月 谷津田米生産者組合設立
4月 第5次滑川町総合振興計画策定
「デマンド交通ターナちゃん」運行開始
7月 子育て支援金支給制度と教育支援金貸付制度を新設
3月 比企丘陵農業遺産推進協議会設立
防災行政無線のデジタル化整備完了
2019 (平成31・令和元年) 防災メール配信サービス開始
6月 台風19号により町内各所で冠水倒木の被害
10月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置
4月 鎌倉殿の13人比企市町推進協議会設立
12月 東京2020オリンピック聖火リレーが「つきのわ駅」に到着
7月 谷津田米が新嘗祭に献穀される
11月 紙芝居「比企氏物語」完成
2月 「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が日本農業遺産に認定
1月 2つの小学校でスクールバス運行開始
3月 ウエルシア薬局株式会社の移動販売開始
4月 人口戦略会議で自立持続可能自治体となる
町制施行40周年記念式典挙行

「ピカッと輝くまちづくり」を語ろう！

「住んでよかった 生まれてよかったまちへ
住まいるタウン滑川」を目指す滑川町。
さらに元気なまち、ワクワクするまち、
“ピカッと輝くまちづくり”に向けて、
大塚町長が町民の皆さんと語り合いました。

Discussion between the Town's Mayor and Residents

Namegawa Town aims to be a town of smiles that people are glad to live in and will be happy to have been born in.
Mayor Otsuka spoke with representatives of the Town's residents about how to create an even more vibrant, exciting, and brightly shining town.



滑川町長
大塚 信一

令和4年10月、滑川町長に就任。
一期目の町政運営に邁進中。



小林 健治さん

令和5年度から下福田地区の区長と、滑川町区長会の会長を務める。地区の防災やコミュニティ活動に尽力。



島田 郁生さん

平成27年に設立した谷津田米生産者組合の組合長を務める。令和5年10月、合同会社谷津田米として法人化。



吉野 さつきさん

一般社団法人あんどで児童保育や子育て支援拠点を運営。育児相談や居場所事業も展開。だれでも集える居場所づくりが目標。



岩崎 千恵子さん

日本食育協会の食育指導士として活動。はあとキッチン主宰。6年前から伊古の農家レストランで郷土食を提供。

災害に強いまちづくりをさらに進めたい

町長 町長就任以来2年間、「ピカッと輝くまちづくり」をキャッチフレーズに町政を進めてまいりました。最近では持続可能な自治体全国6位といううれしい結果も発表されましたが、さらに「住み続けたい町」であり続けられるよう、皆様のご意見をいただきたいと思っています。

小林 近年全国各地で大災害が頻発していて、いざというとき、食べ物や水、電気をどう確保するか心配です。特に心配なのは水ですね。各地区に防災倉庫がありますが、全世帯をまかなう量は保管できません。自主防災組織も多く、地区が任期1年で、ほとんど活動しないうちに終わってしまうのが問題です。

町長 まずは、町民の生命・財産を守るのが自治体首長の一番の役目ですから、災害に強いまちづくりについてのご意見を伺い

町長 飲料水としての使用に限れば、配水池に常時半分は貯められます。最近、給水車などのレンタルを展開している企業と提携したので、給水も問題ありません。

小林 飲み水はひとまず安心なのですね。下福田では、災害で電気やガスが使えなくなった場合に備え、お祭りの際に先輩方の指導によりPTAの役員さんが、釜でご飯を炊いておにぎりを作っています。

岩崎 それは、いざというときのために、いい経験になりますね。

小林 釜でなくてもキャンプの時に使う飯盒でもいい。防災倉庫に備えてほしいという希望もあります。

島田 谷津田米生産者組合では、非常時に米を提供する協定を町と結んでありますよ。

吉野 先日、学童の子どもたちに町長がうどんづくりを教えてくださいましたのですが、そんな体験が非常時にも役立つかもしれないですね。

生きる力を育む 子育て支援を

町長 子どもたちの反応がすごくよかったので、今後も続けたいと思っています。備蓄については、町でも準備していますが、備蓄量に限りがあり町民全員に行きわたる量を確保するのは難しいのが現状なので、各家庭で日頃から備えていただければと思います。

また、自主防災組織は、平成7年の阪神淡路大震災を機に全国的に広がり、滑川町でも立ち上げました。地域の結束は大きな力になるので、うまく運用してほしいのですが、近年のコロナ禍で途絶えた部分もありますね。

町長 滑川町は長年「子育てナンバーワン」の町に向けて、子育て支援に力を入れてきました。その施策が支持されて、今や15歳未満の子どもの人口比は、県内1位、全国でも有数となりました。アンケート調査で「町に住みやすい」という若者世代の回答が、25年前の35%から85%に上昇したことも、いち早く子育て支援に取り組んできた成果ですね。昨年から遠距離通学の児童向けにスクールバスも整備しました。

子育て支援の現状と今後についての意見を聞かせてください。

吉野 公設の学童保育施設が9か所も整備



約半年分の飲料水を貯水できる配水池





町内に9か所設置されている公設の学童保育施設

た。食育は子育てや教育の分母だと思うのです。電気やガスがなくてもご飯が食べられるという経験を知っている子どもは、防災にもつながり、いざというときも安心です。

平成17年に国の食育基本法ができましたが、滑川町でも食育推進基本計画のようなものを作れないでしょうか。

町長 確かに食育は大事ですね。職員と協議しながら考えていきます。

岩崎 給食費の無償化は、今や他市町村も追随しています。谷津田米給食はもちろん素晴らしいのですが、もっと先を打ち出す段階だと思います。子育ても、防災も、農業も、すべて「食」でつながっていますから。

町長 滑川町ではおいしい谷津田米を生産している人がいて、それを給食で食べられることの貴重さを教育現場でよく教えてもらいたいと思っています。そうして、子どもたちの中から谷津田米を作りたいと思う子どもが出てくるのが願いです。

農地と谷津田米ブランドを守りたい

島田 谷津田米の給食を食べた子どもたちから「おいしかった」という手紙をいただくことが生産者のやりがいにつながっています。その子どもたちが社会人になって、その味を思い出してもらえればありがたい

ものは、郷土の宝として残してもらいたいと願います。

小林 昔は、神社の参道も地域の人みんなで守っていました。今は事業団に草刈りまで任せているから、地域のつながりがどんどん失われているのです。

吉野 様々な機会で、伝えていかないと貴重な伝統が途絶えてしまいます。

岩崎 昔を知る人たちが残っているうちに、語り部的に子どもたちに話してもらおう機会を設けるのもいいのではないのでしょうか。

町長 近年のコロナ禍で、地域のつながりが一気に失われたのは残念です。人々が集まって顔見知りになれば、防災上の自助共助にもつながります。そのためにも、地域



伝統を継承する「下福田の獅子舞」

し、農業関係に進みたいと思う若者が出てくれればもっとうれしいですね。

吉野 学童にも谷津田米を提供していただき、子どもたちにも大好評でした。

島田 昨年は、猛暑による高温障害で、近隣の町の米は3等以下になるなど影響を受けた中、谷津田米はほぼ1等で検査員にも驚かれました。高価な選別機を導入するなど、各生産者とも谷津田米のブランドを守ることをモチベーションにがんばっています。

一方で、高齢化と後継者不足が大きな問題です。基盤整備が終了して大型機械が導入できるようになったのに、数年のうちに機械も老朽化して持ちこたえられなくなつてくると心配しています。

小林 農業機械が大変高価なので、農業だけでは収支が合いません。

岩崎 若者が農業に参入できるよう、農機具のレンタルがあるといいと思うのですが。

島田 私が常々考えているのは、町の職員から専属の人を出してもらえないかということです。個人レベルでは農家離れを食い止められませんから。

町長 島田さんのご意見に同感です。町で農業専門の職員を何人か配属し、そこから農業で独立する人が出てきてもいい。町が投資しながら農業を引き継ぎ、農地を守るという方法です。また、ノウハウのある農

100年後も存続し続けるためのまちづくりを

のふれあい事業は何とか維持していただきたいと思っています。

町長 人口戦略会議で、滑川町の人口は今後も増え続けるという推計が出ました。うれしいことですが、単に統計的な数字です。この先を見据えた新たな政策を打ち出して

いかなければ、100年後も存続する町にはならないと考えています。

まず、「安全な町」と宣言できるように、直下型地震などを想定して、災害時のレンタル資材や物流、飲料の自販機、避難所の提供など、さまざまな企業や民間団体とも各種災害支援協定を結びました。建設計画中のコミュニティセンターにも、防災拠点としての機能を備える予定です。谷津田米生産組合とも米の支援協定を結んでいます。町民の皆さんにもご協力いただきたいながら、災害に強いまちづくりを今後の政策の目玉の一つと考えています。

次に、観光ですね。国営武蔵丘陵森林公園には年間80〜90万人もの来場者がありますから、その人たちに「滑川町はいい町だ」「住んでみたい」と思ってもらえるよう、園外でも楽しめる魅力あるものを展開したい。近隣市町村とも連携して、比企地域全体を魅力ある地域に盛り上げていければと考えています。



滑川特産の谷津田米

家の方に里親という形で若者に農業を教えてもらうのもいいかもしれません。

生産者の皆さんの努力のおかげで、谷津田米のブランドはすでに確立されています。さまざまな方のご意見を伺いながら、農地とブランドを守り続ける方法を模索したいと思っています。

地域のつながりが伝統の継承と防災にも

小林 下福田地区では、コロナ禍以来4年ぶりに区民ふれあいの集いを開催し、とても盛況でした。今年初めて開催した「田んぼラグビー」も大変盛り上がりしましたね。

町長 地域の活動が復活したところは、ぜひ続けてもらいたいです。

町民の皆さんのご協力をいただきながら、魅力あるまちづくりをさらに推進していきます。本日は、ありがとうございました。

(令和6年7月2日)



建設中の(仮称)滑川町福祉センター



防災拠点の機能も備える新コミュニティセンターの完成予想図

岩崎 一度やめたら復活は難しいですよ。全部でなくても次世代につなげていくべき

町長 行政から指示するのは難しいですね。
小林 地区の役員ではなく、保存会の人が運営していますからね。下福田の獅子舞も、担当地区の皆さんで、竹ひごに花を付けて万灯を組み立てるのですが、指導者も少なくて苦労しています。夏の獅子舞が終わると各家庭にその花を1本ずつ配り、床の間に飾るのですが、そういう伝統を残していくにはどうしたらいいかと悩んでいます。

小林 行事を続けるには、農家と同じく後継者の問題があります。例えば獅子舞。下福田の獅子舞も伝える人が高齢者となり、獅子舞の意味を説明できる人が少なくなりました。
島田 昔ながらの風習もほとんど失われてしまい、地域の祭りがあっても参加する人が少ないのは寂しいことですね。

町長 伝統行事が昔と変わってきたのは事実です。それらはもともと農業と直結していました。衰退したのは、行事と農業との関わりが薄くなってきたからですな。

吉野 獅子舞は、月輪でもやっていて、参道を練り歩いてくる様子が厳かで感動しました。見ればやりたいという人がいると思うけれど、その機会がないんです。滑川まつりなどで再現できないでしょうか。

町長 行政から指示するのは難しいですね。

小林 地区の役員ではなく、保存会の人が運営していますからね。下福田の獅子舞も、担当地区の皆さんで、竹ひごに花を付けて万灯を組み立てるのですが、指導者も少なくて苦労しています。夏の獅子舞が終わると各家庭にその花を1本ずつ配り、床の間に飾るのですが、そういう伝統を残していくにはどうしたらいいかと悩んでいます。



地産地消の給食



滑川町文化祭

ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

2

EDUCATION / CULTURE

豊かな心と文化を育む まちづくり

学校教育では、子どもたち一人一人の個性や意欲を尊重し、情報教育やキャリア教育など社会状況の変化に対応した教育を行っています。また、自然・歴史など本町の地域資源を活かした教育など、特色ある教育内容の充実を図り、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和がとれた児童生徒の育成に努めています。

社会教育では、町民一人一人が自己に合った学習活動に親しみ、その個性と能力を伸ばし、生きがいを持って充実した人生が送れるよう、多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実に取り組んでいます。

また、学校・家庭・地域と連携して、スポーツ・レクリエーションの振興、貴重な文化財の保護にも努めています。



教育DX

TOPICS

町と一緒に歩んだイベント「町民スポーツ祭」

町民同士の親睦と体力づくりを目的に実施される「町民スポーツ祭」は、コロナ禍で4年間途絶えたものの、町制施行の翌年から約40年間続けられている秋恒例の一大イベントです。

各地区から年代別に代表選手が出場し、リレーや玉入れ、綱引きなどおなじみの競技が繰り広げられて、地区別対抗戦で優勝を競います。どの地区も、選手はもちろん地域ごとの応援も真剣そのもの。秋空の下、年代を問わずスポーツに親しめるとともに、町民の一体感も高まります。



Community Development that Fosters a Rich Spirit and Culture

In school education, we respect the individuality and motivation of each child and student as we provide information training, career training, and other kinds of education in response to changes in social conditions. We strive to nurture children and students with a harmonious balance between solid academic ability, rich humanity, health and physical strength. In social education, we are working to enhance lifelong learning opportunities that meet diverse needs. We also promote sports and recreation, and work to protect valuable cultural assets.



乳幼児健診

ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

1

HEALTH / WELFARE

誰もが生涯安心して 暮らせるまちづくり

誰もが住み慣れた地域で、生涯にわたって安心していきいきと暮らせることは、すべての人々の願いです。滑川町では、保健・医療・福祉の各分野が連携し、地域全体の支え合いのもと、誰もが不安なく日常生活を送れる環境を整え、高齢化・人口減少が進む中においても持続可能な先進予防型のまちづくりを進めています。

「みんなが健康で長寿の町」を標榜し、各地区に健康づくり推進員を置くとともに、健康づくり行動宣言の募集や健康づくり情報の発信にも努めています。

子育て支援に関しては、経済的負担の軽減や地域全体で総合的にサポートする環境づくりを進めています。また、子どもや高齢者、障がい者など社会的に弱い立場の方々にとっても、安全に安心して暮らせる仕組みを整えています。



敬老会



健康フェスティバル

Building a Town where Everyone Can Live with Peace of Mind throughout their Lives

In Namegawa Town, the fields of health, medical care, and welfare are coordinated to promote sustainable, advanced prevention type development based on mutual support of the entire community. In addition to placing health promotion volunteers in each district, we are also working to solicit health promotion action declarations and disseminate information that promotes health. In addition to further advancing support for child-raising, we have established a system that enables even people in socially vulnerable positions to live safely and with peace of mind.

TOPICS

子育てナンバーワンの町の「地域子育て支援拠点」

合計特殊出生率と年少人口割合県内トップクラスを誇る滑川町。子育てに関して万全のサポート体制が整っています。

地域子育て支援拠点は町内に7か所設置され、主に乳幼児から未就学児を子育て中の親子が利用しています。気軽に集い、安心して子どもを遊ばせながら、親同士の交流の場ともなっています。子育てに関する不安や悩みがある場合にも、常駐する経験豊富なスタッフに相談して、適切なアドバイスを受けられます。





農業まつり

ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

INDUSTRY / ECONOMY

4

特性を生かした活力ある産業のまちづくり

さらに、新たな企業誘致を図るとともに町内企業の継続性を支援し、経済の活性化を目指します。地域資源を生かした工業・商業・サービスの振興に努め、持続的な発展が可能な地域産業を築いていきます。

滑川町では、首都圏へのアクセスのしやすさと豊かな自然環境という強みを生かし、活力ある産業のまちづくりを目指しています。基幹産業である農業は、時代の変化に対応しながら安定的な農業経営を支援します。令和5年1月に「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が日本農業遺産に認定されたことを機に、「谷津田米」のさらなるブランド力向上に努めます。また、農業の6次産業化を図り、滑川町独自の付加価値を高めることで、農業の魅力を高めていきます。



工業団地



観光振興（納涼盆踊大会）

Building a Vibrant Community for Industry that Leverages the Town's Unique Features

In the area of agriculture, we support stable agricultural management while responding to changing times. In addition to further boosting the brand power of Yatsuda rice, we will work to turn agriculture into a sixth industry, increase added value, and enhance the attractiveness of agriculture. We will also strive to promote industrial, commercial, and service industries that make the most of local resources and to build local industries that can develop sustainably.

TOPICS

滑川らしい特産品開発「ころ柿」「ぼろたん」

かつて滑川町の特産品として、贈答用に都内の有名デパートにも並ぶほど人気を博した「武州ころ柿」。生産者が減り消滅の危機に陥りましたが、平成25年に復活させる取り組みが始まり、体に優しい自然な甘みを受けて、晩秋の田んぼに柿棚が並ぶ風景とともに見事に復活しました。

一方、「ぼろたん」は加熱すると渋皮がぼろっとむけるよう開発されたクリ。町が栽培を積極的に支援し、年々生産量が増えて、今や滑川町の特産品となっています。



ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

INFRASTRUCTURE / ENVIRONMENT

3

暮らしやすい快適なまちづくり

今後は、町民・事業者・行政が一体となって環境保全や省資源化に取り組むとともに、交通弱者を支援するためのデマンド交通事業の実施、地域ぐるみでの防災・防犯対策の充実を図り、安心・安全に暮らせる環境づくりに努めます。さらに、それらを将来にわたって維持できるような仕組みを整えます。

豊かな自然を有しつつ、都市基盤の整った安心・安全で便利な暮らしは、住みよいまちの基本です。町北部には水と緑の自然豊かな田園風景が広がり、南部には首都圏にアクセスしやすく利便性の高い住環境が整った滑川町は、ちょうどいい・ちよつといい・チョイスされる田舎」として若い世代を中心に幅広く支持され、比企地域で唯一人口が増加しています。



交通安全教室



道路整備



地域防災訓練

TOPICS

Creating a Comfortable Community that is Easy to Live in

Namegawa Town has a rural landscape with abundant nature in the northern part of the Town and a convenient living environment with easy access to the Tokyo metropolitan area in the southern part. The Town is gaining popularity, especially among the younger generation, and the population is increasing. In the future, residents, businesses, and the government will work together to preserve the environment and conserve resources. We will also strive to create an environment where people can live safely and with piece of mind by implementing demand-responsive transportation programs to support those who have difficulty getting around and by enhancing disaster preparedness and crime prevention measures.

だれもが暮らしやすい町へ「デマンド交通ターナちゃん」

主に高齢者や車の運転をしない方などの交通手段を確保し、移動の利便性の向上を図るために、町では指定された時間に指定された場所へ送迎するデマンド交通サービスを実施しています。

週5日運行し、町内全域および滑川町境に隣接している医療機関へも利用可能。登録し、予約を取れば、自宅から目的地までドアツードアで利用できます。家の近くに路線バスが通らない方や運転免許を返納した方はもちろん、だれもが移動に困らないまちづくりに役立っています。





町議会

ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

6

ASSEMBLY / ADMINISTRATION

行政・議会

令和7年度までの目標を定めた「第5次滑川町総合振興計画」の後期基本計画が進行中です。行政運営はこの計画に基づき、行政運営の効率化を図るとともに、効果的な施策の実現を目指します。

議会は、選挙によって選ばれた14人の議員で構成され、町民の意見を正しく把握し、反映させながらまちづくりを進めています。定例会議は年4回開かれ、必要に応じて臨時議会も招集されます。議会は公開され、誰でも傍聴できるほか、音声配信しており、審議内容や結果を「議会だより」でお知らせしています。



執行部 町長／大塚信一 副町長／小柳博司 教育長／上野 修



議長／吉野正浩 副議長／松本幾雄

Administration and Assembly

Regarding administrative management, based on the late-stage basic plan of the 5th Namegawa Town Comprehensive Promotion Plan, we aim to improve the efficiency of the Town's administrative management and implement effective measures. The Assembly advances community development while properly understanding and reflecting the opinions of Town residents. Regular plenary sessions of the Assembly are held four times a year, and extraordinary sessions are also held as necessary. Assembly sessions are open to the public, so anyone can observe the meetings and receive announcements via audio streaming or the Assembly Newsletter.

都市交流

宮城県松島町・富山県上市町・岐阜県笠松町・千葉県東庄町

宮城県松島町との交流は、平成23年に東日本大震災の支援を機に始まり、平成24年4月から令和元年度まで復興支援のために滑川町の職員を松島町へ派遣。同年11月には災害相互支援協定を締結し、平成26年7月に相互交流宣言に調印しました。

また、平成26年8月には富山県上市町、同年12月に岐阜県笠松町、平成27年10月には千葉県東庄町と、それぞれ災害時相互応援協定を締結しました。災害発生時等の安心・安全のために、幅広い地域との応援協定を進めています。



滑川まつりに出店し、交流を深める宮城県松島町



役場庁舎ロビー総合案内

ピカツと輝くまちへ

これからの
まちづくり

5

COMMUNITY / PARTNERSHIP

町民との協働による 自立可能なまちづくり

変化の激しい社会情勢の中、満足度の高い行政サービスの提供と、行政規模に見合った社会資本の最適化という両輪を効果的に進める戦略的な施策・事業の展開が求められています。そこで、町民と行政が一体となって滑川町の未来を見据え、持続可能なまちづくりを進めます。

町民視点と町民ニーズの的確な把握を行うとともに、地域ごとに異なる実情を踏まえつつ、質を重視したまちづくりを進めます。町民の利便性を考慮し、行政サービスのデジタル化を進めるなど、行政サービスの最適化にも努めます。

また、施設の統廃合や複合化・集約化、再配置などを計画的に行い、公共施設の管理及び配置の最適化も進めます。

さらに、長期的なスパンで滑川町の魅力を高める施策・事業を展開し、戦略的な取組を進めます。



民生委員のあいさつ運動



広域連携

Building Self-sustaining Communities in Collaboration with Town Residents

The residents and government of Namegawa Town will work together in looking ahead to the Town's future as we promote sustainable community development. We will strive to optimize administrative services while accurately grasping the needs of residents and considering their convenience. We will also optimize the management and location of public facilities. Furthermore, we will develop measures and projects to enhance the attractiveness of Namegawa Town over the long term.

TOPICS

民間との連携で地域コミュニティ創出 「移動販売車うえたん号」

滑川町は、令和5年10月にウエルシア薬局株式会社と「支え合いによる地域づくり等に関する連携協定」を締結。令和6年3月から、移動販売車の運行を開始しました。町内を巡回し、食料品や日用品などの生活必需品を販売するほか、薬剤師や管理栄養士等とオンラインでの健康相談も受け付けています。

地域住民のつながりの輪を広げる役割や、ドライバーによる地域の見守りも期待されています。



埼玉県内63市町村と比べた 滑川町のスゴイ数字

(資料：統計からみた埼玉各市町村のすがた2024)



統計で知る“滑川町ってこんな町”

「滑川町ってどんな町？」
統計数字を見てみると、滑川町の特徴や、この町ならではの暮らしが見えてきます。



秋

Autumn



春

Spring



滑川町の四季のにぎわいを
動画でご覧ください。

四季折々に町を彩る豊かな緑や花々、
にぎわいに満ちたイベントの数々……。
どの季節もそれぞれに楽しみが広がります。

町を彩る

滑川の四季

NAMEGAWA NO SHIKI



冬

Winter

夏

Summer

滑川町 公共施設 ガイドマップ

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- マークはAED設置場所

主な 公共施設

- 町の公共施設
- 学校
- 公園
- その他



1 滑川町役場
〒福田750-1 TEL 0493-56-2211(代表)



2 滑川町コミュニティセンター・中央公民館
〒羽尾2440-1 TEL 0493-56-2825



3 滑川町保健センター
〒羽尾4972-8
TEL 0493-56-5330



4 滑川町エコミュージアム
センター
〒福田763-4
TEL 0493-57-1902



5 滑川町立図書館
〒福田763-2
TEL 0493-56-3433



6 滑川町総合体育館
〒福田755
TEL 0493-56-6907
(生涯スポーツ担当)



7 滑川町文化スポーツ
センター
〒郡189-1
TEL 0493-56-2951



8 滑川中学校
〒福田700
TEL 0493-56-2239



9 福田小学校
〒福田1660-1
TEL 0493-56-2651



10 宮前小学校
〒羽尾4857-1
TEL 0493-56-2204



11 月の輪小学校
〒月の輪6-15-3
TEL 0493-61-2233



12 滑川幼稚園
〒中尾1530-5
TEL 0493-56-2237



13 滑川総合運動公園
〒福田715-1
TEL 0493-56-6907
(貸出：生涯スポーツ担当)



14 町営月輪球場
〒月輪1536
TEL 0493-56-6907
(貸出：生涯スポーツ担当)
TEL 0493-56-4068
(施設管理：都市計画担当)



15 土塩球場
〒土塩458
TEL 0493-56-6907
(貸出：生涯スポーツ担当)
TEL 0493-56-4068
(施設管理：都市計画担当)



16 比企広域消防本部
滑川分署
〒羽尾2532-2
TEL 0493-56-2221



17 森林公園駅
〒羽尾3977-1
TEL 0493-56-2205



18 つきのわ駅
〒月の輪1-1
TEL 0493-62-8022